



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 9. 24

下水道機構の『新技術情報』 第61号

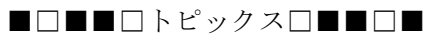
(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



暑さ寒さも彼岸までといいますが、週末は気温がぐっと下がりましたね。ところでお彼岸といえば「ぼたもち」、「おはぎ」ですが、この両者の違いをご存知ですか？  
実は、二つとも同じもので彼岸の頃に咲く牡丹(春)→ぼたもち、萩(秋)→おはぎに由来していて、季節によって呼び方が変わるのだそうです。なるほど！

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第61号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。



★インフォメーション

- ・創立20周年を迎えます (理事長 石川忠男)
- ・Web 機関誌「下水道機構情報 PLUS+」のバックナンバーをホームページへ掲載しました！

★機構の動き

- ・今週、9月28日(金)は、創立記念日のため機構はお休みとなります

★Tea Break

- ・ポーランドへ行ってきました (研究第一部 CN@単身赴任中さんからの投稿です)

★【新コーナー♪】まる子のゆいまーる

- ・今週は、まる子はお出かけのためお休みします

★国からの情報

- ・9月21日付、下水道ホットインフォメーション

.....  
インフォメーション (最新の話題です)  
.....

●創立20周年を迎えます (理事長 石川忠男)

このメールマガジンをご愛読いただいている皆様、それぞれのお立場でご活躍のことと思います。下水道新技術推進機構が設立されたのが平成4年9月28日ですから今年で丁度創立20周年にあたります。この間、下水道事業における様々な課題を解決するため、産官学の知識と経験を結集して、新技術の調査・研究・開発・評価を行い、実用可能な技術として普及促進させることに取り組んで参りました。

「技術の橋渡し」をキャッチフレーズに新しい技術を多くの下水道事業体に使って頂くべく研修・広報など普及活動にも力を入れて参りました。「機構」の関与した技術が各地で採用され、下水道の発展に寄与してきたものと思います。

公益法人改革の中で当機構も「(公益財団法人) 日本下水道新技術機構」として公益財団を目指し、申請手続きに入りました。順調に認定されれば平成25年4月の新年度から公益財団に移行する予定です。

これからも機構の研究成果が下水道事業に広く活用され、下水道事業の効率化、高機能化に寄与し、良好な水環境を創出し、ひいては国民が水環境の恵沢を享受出来れば幸いです。

20周年を機に、役職員一同気持ちも新たに新技術の研究開発に取り組んで参る覚悟です。今後とも機構の活動にご支援とご理解をお願い申し上げます。

●Web 機関誌「下水道機構情報 PLUS+」のバックナンバーをホームページへ掲載しました！

当機構では、機関紙「下水道機構情報」を年4回、印刷物で発行してきましたが、情報をより多くの方へお伝えするため、昨年11月から、うち2回をWeb 機関誌「下水道機構情報 PLUS+」としてメールにて配信をしています。これまでに2回（H24.11月、H24.2月）配信をさせていただきましたが、今回ホームページへバックナンバーを掲載しました。

バックナンバーはこちら→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/index.htm>

---

機構の動き （機構の行事予定です）

---

●下水道機構設立記念日

平成24年9月28日(金) （機構はお休みとなります）

※おかげさまで、創立満20年を迎えます。

●平成24年度第1回高知県下水道地震・津波対策検討委員会

日時：平成24年10月5日(金) 14:00～17:00

場所：高知城ホール 2階 中会議室

●第308回技術サロン

日時：平成24年10月11日(木) 17:00～18:00

場所：下水道機構8階中会議室、ゲスト：東京ガス(株) 導管ネットワーク本部防災・供給部課長 猪股 渉氏、テーマ：ガス事業における防災の視点からの危機管理

※参加お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-308.htm>

---

Tea Break （機構職員の感じるまま）

---

●ポーランドへ行ってきました（研究第一部 CN@単身赴任中さんからの投稿です）

先日、海外出張でポーランドに行ってきました。一般的にポーランドという国は知名度が低い??かもしれませんが、ショパンやキュリー夫人、コペルニクスといった偉人を輩出し、豊かな歴史と伝統を持つ国です。

その中でも皆さんにご紹介したいのはクラクフという街です。ポーランドの南部に位置するクラクフは「古都」という言葉が実に良く似合う街で、街全体が世界遺産に指定されています。クラクフはポーランド歴代国王の住まいであったこともあり、宮殿や教会、石造りの住宅など、戦火を逃れた多くの建物がほぼそのまま残っていて、中世の雰囲気は十二分に堪能できます。（アジア人はほとんど見かけませんでした）

他にも多くの博物館や天文学者コペルニクスの学び舎など見どころ満載です。現地の方々はとても親切で、言葉や人種など全く気にせずに温かく受け入れてくれる印象でした。また、物価は日本と比べるとかなり安く、食べ物などの値段は日本のおよそ半額に近いものでした。(ポーランド料理はとても美味しかったです！)

とにかく、中世ヨーロッパの歴史を感じたい方にはお勧めのスポットだと思います。一度、行って見られてはどうでしょうか。

---

まる子の結まーる (皆様との交流の場です)

---

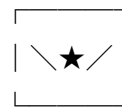
●今週は、まる子はお出かけのためお休みします

See you next week ♪(^\_-)☆

=====

皆さまからの情報提供をお待ちしておえます！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等はA 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション (2012.9. 21 付、国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



子どもが遊べる身近な水辺を見つけるのが難しくなっていますが、先週末、いきつけの水辺に遊びに行ってきました。湿地・沼地のようなところを小奇麗に整備していて、一部が子どもが遊べるようになっています。自然のままとは言い難いですが、周りは田んぼやちょっとした林になっていて、良い雰囲気です。ただ、水の中の生き物は、もう随分、少なくなっており、秋の気配でした。明日は、秋分の日。今日あたり、随分、涼しくなってきました。どうぞ、体調管理にお気を付けてください。

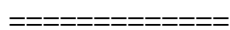
★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○今後の汚水処理のあり方に関する検討会 (第 7 回) について【下水道事業課】

○「下水道場(下水道若手情報ネットワーク)」の続報【下水道企画課】

●堺市上下水道局は膜分離活性汚泥法の既設改築適用時の課題に関する共同研究協定を締結しました【堺市】

●「管路施設における維持管理の包括的民間委託」をテーマにセミナーを開催します【日本水道新聞社 (日本下水道新聞)】



○今後の汚水処理のあり方に関する検討会 (第 7 回) について【下水道事業課】

9月12日に「今後の汚水処理のあり方に関する検討会（第7回）」が開催されました。4月4日に示した中間とりまとめの内容のうち、特に3省が連携して進めていくべき2つの事項として、「都道府県構想策定マニュアルの作成」、「下水道供用開始区域内のモデル都市における汚水処理施設のグレードアップに関する検討内容及び実行スケジュール（素案）」について議論が交わされ、3省政務官にて合意がなされました。今後、これらの内容について3省連携して検討を進めていきます。

会議資料をホームページに公表しましたのでお知らせします。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000246.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000246.html)

○「下水道場(下水道若手情報ネットワーク)」の続報【下水道企画課】

先週号でご連絡いたしました「下水道場(下水道若手情報ネットワーク)」につきまして参加者71名のご議論の結果を踏まえた、『下水道場「神田宣言」』がまとまりましたので公表いたします。

「神田宣言」

- 一、下水道若手職員が集う場として、下水道場を開場する。
- 一、下水道場の活動方針は、以下を目指す。
  - ・スマートサークル下水道場 ～人の和 水の環を未来へ～
  - ・日本の下水道を世界ブランドにする
- 一、下水道場に集う者は、競争と協調とエンジョイによりスパイラルアップを目指す。
- 一、下水道場では、上記目的を達成するため、定期的に様々な場所で行う会合、SNS等を活用した情報交換・情報発信、下水道若手名簿の作成等を行う。

後日改めて下水道場の会員募集を行いたいと考えております。

主体的な活動を行いたい若手の皆様、ご参加を検討していただければ幸いです。

●堺市上下水道局は膜分離活性汚泥法の既設改築適用時の課題に関する共同研究協定を締結しました【堺市】

堺市上下水道局は、膜分離活性汚泥法による下水処理方式の普及促進のため、地方共同法人 日本下水道事業団および株式会社クボタの3者で、共同研究協定を締結しました。

この共同研究では、次のような下水処理施設に有効な設計手法や運転管理手法を明らかにしようとするもので、堺市三宝下水処理場をフィールドに実施します。

- (1) 合流式下水処理場
- (2) 限られた用地の中で施設改築を予定する中大規模下水処理場

詳細は堺市上下水道局ホームページをご覧ください。

<http://water.city.sakai.lg.jp/gesuidou/240918.html>

●「管路施設における維持管理の包括的民間委託」をテーマにセミナーを開催します【日本水道新聞社（日本下水道新聞）】

4月に公表されました「下水道管路施設の維持管理における包括的民間委託の導入に関する報告書」につきましては、6月から7月にかけて地方自治体下水道担当職員を対象にした国土交通省主催の説明会が全国各地で開催されたところですが、各方面の方々からの説明会開催ニーズに応え、公民を問わず関係する方々にご参加いただけるセミナーを開催することになりました。日程やプログラムは以下の通りです。

(開催日時)	(開催地・開催場所)	(定員)
・10/5(金) 13:00～	名古屋市・TKP名古屋ビジネスセンター	130名
・10/29(月) 13:00～	東京都千代田区・日本水道会館	150名
・11/12(月) 13:00～	大阪市・大阪科学技術センター	130名

(プログラム)

- (1)基調講演「下水道施設の維持管理における包括的民間委託を取り巻く状況」  
国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課
- (2)特別講演「管路施設の維持管理の包括的民間委託の導入に関する報告書について」  
名古屋市上下水道局技術本部管路部保全課  
※名古屋会場は(公社)日本下水道協会企画調査部経営調査課
- (3)事例報告「青梅市における包括的業務委託の導入」  
青梅市都市整備部下水管理課
- (4)事例報告「包括的業務委託に関する鳥取市の取り組み」  
鳥取市環境下水道部下水道企画課

申し込み締め切りは、名古屋会場が9月28日(金)、東京会場が10月19日(金)、大阪会場が11月2日(金)です。

お問い合わせ及びお申し込みは、日本水道新聞社出版企画事業部・セミナー係  
(電話：03-3264-6724 F A X：03-3264-6725)までお願いします。また日本水道新聞社のホームページにも詳細を掲載しております。皆様のご参加をお待ちしております。

[http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2012/09/post\\_44.html](http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2012/09/post_44.html)

<再掲>

報告会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の報告会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

●J S技術報告会の開催について【日本下水道事業団】

(10月18日、11月7日開催)

<http://www.jswa.go.jp/kisya/h24pdf/240911kisya.pdf>

→9月13日掲載

●第24回研究発表会の開催について【環境システム計測制御学会】

(10月25～26日開催)

<http://eica.jp>

問い合わせ：

環境システム計測制御学会 事務局 間處・西尾

TEL:090-9219-4106 FAX:077-537-4997

E-mail:info@eica.jp

→9月13日掲載

●第17回「下水道循環のみち研究会」セミナーを開催します

【日本下水道施設業協会】

(10月5日開催)

<http://www.siset.or.jp/>

問い合わせ：

日本下水道施設業協会 河野 (03-3552-0991)

→9月6日掲載

=====

【参考情報】

◆下水道の役割学ぶ、大学生らが中部水再生センター訪問／横浜 <9/13 神奈川新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1209130034/>

◆バイオガス 燃料に 沖縄ガスと糸満市が再利用実験 <9/14 琉球新報>

<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-196891-storytopic-4.html>

◆石巻東部、仙塩、県南の3下水施設 年度内に震災前水準へ <9/17 河北新報>

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/09/20120917t11020.htm>

◆浸水被害軽減に威力 県が諏訪へ排水ポンプ車配備方針 <9/17 長野日報>

<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=26207>

◆大震災被災の道路・下水道、今月末に全面復旧 防災物資予算は各区で検討 千葉市 <9/18 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/120918/chb12091821470001-n1.htm>

◆京都駅ビル"緑の回廊" 植物90品種、フロアや階段に彩り <9/18 京都新聞>

<http://www.kyoto-np.co.jp/sightseeing/article/20120918000051>

◆大阪府、下水処理場でメガソーラー、災害時には非常用電源に <9/19 日本経済新聞>

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASJB18029\\_Y2A910C1LDA000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASJB18029_Y2A910C1LDA000/)

◆下水処理施設が復旧 石巻東部浄化センター <9/19 河北新報>

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/09/20120919t11029.htm>

◆大阪の下水道技術アピール ミャンマー訪問中の松井知事 <9/19 日本経済新聞>

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASHC1802U\\_Y2A910C1AC8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASHC1802U_Y2A910C1AC8000/)

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニュースレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

